令和６年度　　第【　１　】学年　教科【 家庭科 】　担当【　　】

１　学習目標

実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をよりよくしていこうとする能力と態度を育てる。
家庭の機能を確認し、家庭生活を支える家族関係や社会の仕組みがわかる。
衣服と社会生活とのかかわりを考え、目的に応じた着用や個性を生かした着用を工夫することができる。
簡単な日常着の手入れや日常の生活に必要な小物を工夫し、製作する技術を身に付ける。
消費生活の仕組みを知り、よりよい消費生活を送るための消費者としてのあり方を考える。

２　使用教科書・教材

開隆堂　技術・家庭　「家庭分野」

３　学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
１学期（４～７月） ２学期（８～１２月）	家族・家庭生活　目的に応じた衣服の選択 生活を豊かにする物の製作 日常着の手入れと保管	自分の成長と家族・家庭生活 衣服の社会生活上の働き　自分らしい着方の工夫 布による作品の製作
３学期（１～３月）	消費生活	家庭生活と消費　　購入・支払いと生活情報 消費者被害と消費者の自立

４　評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を活かす着用について理解している。衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。物資とサービスについて理解し、購入方法や支払い方法の特徴がわかる。計画的な金銭管理の必要性について理解している。売買契約の仕組みについて理解できる。物資やサービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。消費者被害の背景とその対応について理解している。消費者の基本的な権利と責任について理解している。自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	定期考査 ワークシート 作品 作業時の安全 道具の使い方・ 片づけ方
思考・判断・表現	家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。物資やサービスの購入について問題を見出して課題を設定している。 設定した課題について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 自立した消費者としての消費行動について問題を見出して課題を設定している。自立した消費者としての消費行動について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	定期考査 ワークシート 作品の表現
主体的に学習に取り組む態度	家族とのかかわりについて，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。衣服の選択について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。よりよい生活の実現に向けて，衣服の選択について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。日常着の手入れについて，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。よりよい生活の実現に向けて，生活を豊かにするための布を用いた製作について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。物資やサービスの選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。消費者被害の対応について課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシートの 記述内容 実習中、授業中の様子 実習、授業の振り返り 定期考査 作品の進度・ 提出期限